2015年5月21日

報道関係各位

東京ドームシティ
PRESS INFORMATION

株式会社東京ドーム

夏期限定お化け屋敷『呪い指輪の家』開催のお知らせ

東京ドームシティ アトラクションズでは、2015年7月17日（金）～9月23日（水・祝）の期間、毎年恒例の夏期限定お化け屋敷を、『呪い指輪の家』と題して開催します。この夏も、お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏による、より恐怖の増したお化け屋敷を夏期限定演出でお届けします。今回のテーマは＜指輪＞。かつて、左手の薬指には、心臓から真っ直ぐに太い血管が繋がっている、と信じられていました。そのため、指輪交換は、お互いの心臓（＝心）を結ぶという意味を持っていました。けれど、お互いの心が不幸な繋がり方をし、深い怨念が生まれたとしたら……。

入口で指輪を受け取ったお客様は、その家に宿る怨霊の薬指に指輪をはめ、その魂を鎮めなくてはなりません。果たして、無事に戻ってくることができるでしょうか・・・。

また『呪い指輪の家』は大阪・梅田（ちゃやまちプラザ）でも、＜指輪＞をテーマに、異なるストーリー、異なる演出で期間限定開催します。

【イメージビジュアル】

【開催概要】

◎タ イ ト ル：夏期限定お化け屋敷『呪い指輪の家』
◎開 催 期 間：2015年7月17日（金）～9月23日（水・祝）〔69日間〕
◎開 催 時 間：【絶叫篇】10：00～16：00 【超・絶叫篇】17：00～22：00
※【絶叫篇】と【超・絶叫篇】で演出が一部異なります。
※混雑状況により受付終了時刻が変更になることがあります。
※8／13（木）～16（日）、9／19（土）～23（水・祝）は9：30開園です。
※7／17（金）、9／1（火）～9／18（金）、9／23日（水・祝）は21：00閉園です。
◎開 催 場 所：東京ドームシティ アトラクションズ
◎料　　金：820円　※【絶叫篇】はワンデーパスポート利用可
◎入 場 規 定：6歳以上
◎テ　ー　マ：指輪
◎企 画・制 作：（株）オフィスバーン
◎プロデュース：五味弘文氏
◎U　R　L：http://noroiyubiwa.com

【お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏】

1992年から、東京ドームシティ アトラクションズのお化け屋敷を手がける。お化け屋敷にストーリーを持ち込み、お客様に役割を担わせることでそのストーリーに参加させるスタイルを確立する。代表作に、赤ん坊を抱いて歩く「赤ん坊地獄」、手錠に繋がれて歩く「恐怖の手錠地獄」、靴を脱いで体験する「足刈りの家」、幽霊と指切りをする「ゆびきりの家」などがある。2014年には、東京ドームシティ アトラクションズをはじめ、全国10ヶ所のお化け屋敷をプロデュースした。

『人はなぜ恐怖するのか？』（メディアファクトリー）、『お化け屋敷になぜ人は並ぶのか』（角川 one テーマ21）、小説『憑き歯～密七号の家』（幻冬舎文庫）などの著書もある。

【五味弘文氏】

お客様からのお問い合わせ先：東京ドームシティ アトラクションズ TEL. 03－3817－6001

【ストーリー・設定】

鮎子は両親の厚い愛情のもと、不自由なく暮らしていました。
ところが、１０歳の時、鮎子と母親は交通事故に遭ってしまいます。鮎子をかばった母親は重傷を負い、自分の薬指につけていた指輪をはずし、鮎子の薬指にはめながら「結婚するまで‥‥‥、お母さんが‥‥‥、守っていて‥‥‥あげる‥‥‥」その言葉が母親の最期の言葉になりました。
指輪の内側には、母親の流した血が残っていました。
母親の鼓動が止まった瞬間、不思議なことが起こりました。鮎子にはめられた指輪から、何か温かいものが心臓に入り込んだような気がしたのです。母親の命の一部が、鮎子の中に入ったような感覚でした。

母親が亡くなってからも、鮎子は自分の近くに母親がいるような気がしてなりません。
また、奇妙なことに、鮎子の身に病気や事故などの厄災が降りかかろうとするときには決まって、薬指の指輪から血が滲むのです。これは、母親が鮎子を守っている、というメッセージだったのかも知れません。

やがて成人した鮎子は、木崎という男と知り合います。木崎が惹かれたのは鮎子の美しい指でした。
３年にわたる交際の後、鮎子は母親の指輪を外して、木崎の指輪を受け入れてもいいと思うようになってきました。鮎子がプロポーズを受け入れると、木崎は早速結婚指輪を用意しました。

結婚式の日は晴天で、まるで二人の幸せを祝福してくれているかのようでした。壇上にあがり、木崎は鮎子の美しい指から母親の指輪を外そうとしました。
ところが、なかなか指輪は外れません。それはまるで、母親が鮎子を掴んで離さないかのようです。
「母親が鮎子を自分に渡すまいとしている‥‥‥。」
そんなイメージが木崎の頭に浮かんだ瞬間、その指輪に対する強い憎悪が湧き上がってきました。木崎は力任せに指輪を外そうとします。痛みに堪えかねて「痛い‥‥‥」と訴えた鮎子の耳に聞こえてきたのは、今まで聞いたこともない、暗く、冷たい木崎の悪態の声でした。
それでも指輪は外れず、木崎の力はどんどん強く、乱暴になっていきます。
「痛い‥‥‥。痛い‥‥‥‥。」
その時、鮎子は指輪から血が滲んでいることに気付きました。そして思わず鮎子の口から声が漏れました。
「いや‥‥‥！」
その声を聞いた途端、木崎が顔を上げました。その目は、底なしのように暗い色でした。
恐ろしくなった鮎子は、必死で手を離そうとしました。けれども、鮎子が力を入れれば入れるほど、その倍もの力で木崎は押さえつけ指輪を外そうとします。揉み合ううちに、二人の耳に嫌な音が聞こえました。
グギッ‥‥‥‥‥‥。
鮎子の薬指の折れる音です。
折れた指から、指輪はするりと外れ、床に転がりました。それを拾った木崎は、冷たい表情のまま、あの世に返すように指輪を遠くまで放り投げました。けれど、折れた指はたちまち腫れ上がり、木崎の指輪はもう通りませんでした。

二人の結婚生活は、心の通わない冷たいものでした。指輪を失った鮎子は、まるで心を失ってしまったかのようです。なくなった心の穴に、木崎に対する恨みや憎悪など、今まで抱いたことのないような感情が溜まり、彼女を蝕んでいきました。暗く湿った感情が大きくなればなるほど、彼女の体は衰弱していき、やがて彼女の心臓は怨念の塊そのものと化し、孤独のうちに亡くなってしまいました。

この家には、今も鮎子がいます。怨念の詰まった鮎子の心を溶かす方法はただ１つ。彼女の薬指に結婚指輪をはめることです。

彼女に指輪をはめてあげてください。ただし、その指は折れています‥‥‥。

◆梅田お化け屋敷2015『呪い指輪の家』

『呪い指輪の家』は、大阪・梅田でも五味弘文氏のプロデュースによる、別のストーリーでの＜指輪＞をテーマにした期間限定お化け屋敷を開催します。東京、大阪それぞれに違った恐怖体験をお楽しみいただけます。

◎会　場：ちゃやまちプラザ（大阪市北区茶屋町17−1　梅田ロフト横　MBS本社1F）
◎期　間：7月10日（金）～9月6日（日）
◎料　金：1,000円